

○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. II-23	資料名	馬上才図
------	----------	-----	------



額装 紙本署色 [縦×横] 52.0×81.4cm

1747～48年の朝鮮通信使が披露した馬上才による曲馬を描いたもの。江戸の対馬藩邸での予行練習の様子と推測される。曲馬は対馬藩邸において数度にわたって予行練習を行い、そのうち江戸城内で将軍の上覧を仰いだ。また、将軍上覧後は江戸上野においても挙行され、これは庶民も見物した。作者は浮世絵師の二代目鳥居清信であり、肉筆で描かれている。

日本の人々が楽しみとした異国のパフォーマンスであり、これを記録した数少ない資料として貴重である。

資料番号	J. II-24	資料名	琵琶湖図
------	----------	-----	------



絹本著色 (縦×横) 57.5×146.6cm

琵琶湖畔を進む朝鮮通信使の行列が描かれた唯一の絵画資料。中央には、日本最大にして景勝地としても名高い琵琶湖を描き、それを取り巻く景観をパノラマ状に描いている。右下には、街道を進む朝鮮通信使の一行が描かれる。製作年は、1824年。作者である円山応震(1790～1838)の在世中に通信使が琵琶湖畔を通行した史実はないが、通信使を回顧・顕彰する目的で描かれた作品と考えられる。